

平成 25 年 7 月 26 日から 28 日の大雨・洪水に係る被害状況

※前回公表(10/18)時点からの変更部分は下線を付しています。

1 気象概況

7月26日から28日にかけて、温かく湿った空気の流れ込みにより、西日本から北日本の広い範囲で大気の状態が非常に不安定となり、このため、局地的に非常に激しい雨が降った。

本県では、7月26日から28日にかけての総降水量が、住田町で239.0ミリ、陸前高田市で187.0ミリ、一関市大東で178.0ミリを観測するなど、県の南部を中心に150ミリを超える大雨となった。

この大雨により、一関市、住田町、奥州市、陸前高田市などで、住家の床上浸水や床下浸水、がけ崩れなどの土砂災害、道路の損壊や冠水による交通障害などの被害が発生した。

○主な地点の日最大1時間降水量

気象台観測所	日最大1時間降水量	起 時	備 考
陸前高田	73.0㍓	7月26日 20:22	
釜石	68.0㍓	7月26日 21:23	観測史上最大
住田	66.5㍓	7月26日 19:57	観測史上最大
大槌町小鍬	59.5㍓	7月26日 21:38	
大船渡	53.0㍓	7月26日 20:58	7月の観測史上最大

○主な地点の総降水量（7月26日0時～7月28日24時）

気象台観測所	総降水量	気象台観測所	総降水量
住田	239.0㍓	一関	168.0㍓
陸前高田	187.0㍓	奥州市衣川	164.0㍓
一関市大東	178.0㍓	奥州市米里	162.5㍓
大槌	177.0㍓	大槌町小鍬	157.5㍓

2 災害対策本部等設置状況

県では、平成25年7月26日16時03分、県内23市町村に対する大雨洪水警報が発表されたことに伴い、岩手県災害警戒本部を設置し、被害情報の収集等を行った。(7月31日18:00廃止)

大雨洪水警報は7月29日までの間に断続的に発表され(27日09時43分、11時08分、12時12分、13時25分、15時15分、28日15時36分、18時42分、29日16時34分)、最大で25市町村に災害警戒本部が設置され、うち一関市においては、被害の拡大に伴って、7月26日19時10分災害対策本部に切り替え、避難指示等災害応急対策を行った。(7月31日17:00廃止) ※一関市の他、3町が対策本部へ格上げ

3 避難の状況

(1) 避難指示 7月29日10時5分までにすべて解除

市町村名	対象地区	避難指示日時	解除日時	対象世帯	避難所
陸前高田市	矢作町味米地区、打越地区、元屋敷地区、中島地区	7/26 21:25	7/27 05:00	165世帯 (273人)	矢作小学校
住田町	川向地区 火石地区	7/26 20:50	7/26 23:15	73世帯 (140人)	農林会館 曙公民館
岩泉町	小川地区	7/28 21:20	7/29 10:05	116世帯 (244人)	小川生活改善センター 見内川公民館

(2) 避難勧告 7月27日11時00分までにすべて解除

市町村名	対象地区	避難勧告日時	解除日時	対象世帯	避難所
一関市	大原地区	7/26 21:05	7/26 23:30	計36世帯 (111人)	大原公民館 松川集会所、東山支所
	東山地区	7/26 21:30	7/27 11:00		
陸前高田市	横田町梅ノ木地区、金成地区、袋沢地区	7/26 21:54	7/27 05:00	41世帯 (120人)	横田町第八区会館

(3) 自主避難 8月13日17時をもって全員帰宅済

自主避難のあった市町村：大船渡市(5名)、一関市(51名)、山田町(3名)、岩泉町(1名)

4 人的被害等の状況 (10月25日12時現在)

(1) 人的被害

市町村名	重傷者	軽傷者
一関市	1人	1人
計	1人	1人

【状況】
自宅裏山が崩れ、巻き込まれたもの。
車両が道路陥没箇所に転落したもの。

(2) 住家等被害【担当部局：保健福祉部】

市町村名	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	非住家被害	公共施設
大船渡市					3棟		
花巻市							2棟
遠野市					6棟		
一関市	2棟		1棟	86棟	140棟	6棟	
陸前高田市				7棟	40棟		
奥州市				3棟	36棟	1棟	
紫波町					1棟		
平泉町			1棟		3棟	3棟	
住田町				1棟	33棟		
山田町					1棟		
岩泉町		6棟			24棟		
計	2棟	6棟	2棟	97棟	287棟	10棟	2棟

※公共施設内訳：大迫野球場、花巻市民体育館

(3) ライフライン

ア 水道被害【担当部局：環境生活部】 ※すべて復旧済み

市町村名	最大断水戸数	備 考
一 関 市	993	東山地区(748)、大東地区(245)
岩 泉 町	43	国境地区(43)
計	1,036	断水発生最終時刻 (7月28日19時) 断水復旧最終時刻 (8月6日16時)

イ 電力被害【担当部局：環境生活部】 ※すべて復旧済み

市町村名	最大停電戸数	備 考
宮 古 市	2,141 戸	宮町他(1,494)、津軽石他(647)
大船渡市	32 戸	三陸町越喜来・吉浜
北 上 市	487 戸	立花
一 関 市	189 戸	真柴(135)、東山町田河津(54)
二 戸 市	108 戸	福岡
八幡平市	26 戸	松尾寄木
奥 州 市	658 戸	胆沢区若柳(560)、水沢区西光田(98)
紫 波 町	2,133 戸	犬吠森他(1,293)、大巻他(657)、平沢他(183)
矢 巾 町	901 戸	西徳田・東徳田・又兵エ新田
平 泉 町	1 戸	長島
洋 野 町	3,836 戸	種市・小子内・有家
計	10,512 戸	停電発生最終時刻 (7月27日16時16分) 停電復旧最終時刻 (7月27日18時14分)

(4) 災害廃棄物の発生状況【担当部局：環境生活部】

市町村名	発生数	備 考
一 関 市	約 364t	前回公表時点から+85t

5 被害総額（10月25日12時現在）

67億7,545万円（調査率：100%）【確定】※万円未満切り捨て

6 農林水産関係の被害状況（10月25日12時現在）【担当部局：農林水産部】

被害額 28億7,367万円（調査率：100%）【確定】

※万円未満切り捨て

区分	被害の概要	被害額	被害市町村	
農業関係	農畜産物・農業施設 ○水稻の冠水・土砂流入【402ha】 ○野菜・花き・飼料作物等の冠水・倒伏【86ha】 ○鶏舎浸水による鶏（ブロイラー）の死亡【15,030羽】	4,261万円 5,873万円 736万円	奥州市、一関市、平泉町、大槌町、岩泉町、陸前高田市、住田町、遠野市	
	○パイプハウス等の破損【33棟】	648万円	一関市	
	農地・農業用施設 ○農地の法面崩壊・土砂流入【2,138箇所】 ○農業用施設被害（水路への土砂流入、農道法面崩壊等）【1,751箇所】	8億2,200万円 11億4,700万円	奥州市、花巻市、遠野市、一関市、平泉町、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、大船渡市、陸前高田市、住田町	
	小計	20億8,418万円		
林業関係	林業施設 ○林道・作業道の法面崩壊・路面洗掘【521箇所】 ○治山施設の一部損壊【11箇所】 ○菌床しいたけ及びブロック流出【1,600Kg、2,000玉】 ○森林の倒木【0.04ha】 ○林地荒廃（林地の一部崩壊）【25箇所】	2億6,061万円 3,650万円 212万円 11万円 4億8,650万円	葛巻町、奥州市、遠野市、一関市、平泉町、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、大船渡市、陸前高田市、住田町	
	小計	7億8,584万円		
	水産・漁港関係	漁船 ○船外機水没【1隻】	15万円	大船渡市
		漁港関係 ○浮遊ゴミ流入【7漁港（7箇所）】	350万円	釜石市、大槌町、大船渡市、陸前高田市
	小計	365万円		
合計		28億7,367万円		

7 土木施設等の被害状況（10月25日12時現在）【担当部局：県土整備部】

(1) 土木施設関係被害

被害額 36億7,000万円（調査率：100%）【確定】※万円未満切り捨て

管理別	施設別	被害箇所数	被害額	被害路線等（代表箇所）
県管理関係	河川	76箇所	7億2,280万円	砂鉄川、曾慶川
	道路	41箇所	2億8,593万円	国道342号、前沢東山線
	小計	117箇所	10億873万円	
市町村管理関係	河川	217箇所	19億1,647万円	寒沢川（一関市）、小本川（岩泉町）
	道路	116箇所	6億7,480万円	向山佐野脇線（一関市）
	橋梁	5箇所	7,000万円	北ノ沢1号橋（一関市）
	公園	0箇所	0万円	
	小計	338箇所	26億6,127万円	
計		455箇所	36億7,000万円	

(2) 土砂災害（10月25日12時現在）

市町村名	土砂災害		
	崖崩れ	地すべり	土石流
岩泉町			3
計			3

8 商工関係被害（10月25日12時現在）【担当部局：商工労働観光部】

被害額 7,389万円（調査率：100%）【確定】※万円未満切り捨て

種別	施設数	被害状況	被害額	被害市町村
商工業者	35	浸水等	5,702万円	一関市
観光施設	6	船、橋の流出等	1,687万円	一関市
計	41		7,389万円	

9 教育施設の被害状況（10月25日12時現在）【担当部局：教育委員会】

被害額 5,915万円（調査率：100%）【確定】※万円未満切り捨て

施設	施設数	被害額	被害市町村等
小学校	10	3,385万円	一関市、奥州市、陸前高田市
中学校	4	181万円	奥州市、住田町
高等学校	4	2,349万円	盛岡市、一関市
幼稚園	1	0万円	一関市
計	19	5,915万円	

10 文化財施設の被害状況（10月25日12時現在）【担当部局：教育委員会】

被害額 1,889万円（調査率：100%）【確定】※万円未満切り捨て

市町村名	施設数	被害額	備考
一関市	5	185万円	狛鼻溪、佐藤家住宅主屋、曾慶熊野神社本殿 山吹城本丸跡、金鶏城跡
奥州市	1	704万円	柳之御所遺跡平泉遺跡群
平泉町	3	1,000万円	中尊寺、柳之御所遺跡、毛越寺
計	9	1,889万円	

11 社会福祉施設の被害状況（10月25日12時現在）【担当部局：保健福祉部】

被害額 400万円（調査率：100%）【確定】 ※万円未満切り捨て

市町村名	施設数	被害額	備考
遠野市	1	100万円	社会福祉施設（グラウンド法面、U字側溝の損壊）
奥州市	1	300万円	社会福祉施設（敷地内法面崩落）
計	2	400万円	

12 水道施設の被害状況（10月25日12時現在）【担当部局：環境生活部】

被害額 4,144万円（調査率：100%）【確定】 ※万円未満切り捨て

市町村名	箇所数	被害額	備考
一関市	22	3,522万円	ポンプ制御盤等水没、場内土砂堆積等
岩泉町	1	622万円	配水管破損
計	23	4,144万円	

13 県有施設の被害状況（10月25日12時現在）【担当部局：政策地域部】

被害額 3,441万円（調査率：100%）【確定】 ※万円未満切り捨て

市町村名	施設数	被害額	備考
久慈市	1	3,441万円	平庭高原自然交流館（浄化槽損傷）
計	1	3,441万円	

※ 損傷は、指定管理者において応急修繕済み。県においては本復旧工事に向けて準備中。

14 関係部局におけるこれまでの対応状況（2次災害等防止に向けた取組み等）

(1) 環境生活部

ア 水道施設

- ・ 応急仮配管等により断水による被害を解消（8月6日までにすべて解消）
- ・ 水道事業体が実施する災害復旧事業の復旧計画に対する指導・助言
- ・ 水道施設災害復旧費国庫補助申請のための国（厚生労働省）への概要報告
- ・ 水道事業体では、国の災害査定（10月7日から9日まで）を終了し、年内の工事完成予定

イ 災害廃棄物の処理

- ・ 一関市が実施する災害復旧事業の復旧計画に対する指導・助言
- ・ 災害等廃棄物処理事業の国庫補助申請のための国（環境省）への概要報告及び実地調査事前準備等

(2) 農林水産部

- ・ 農業改良普及センターにおいて、病虫害防除のための技術指導や代替作物の作付けに係る栽培技術指導を実施
- ・ 農地、農業用施設の被害調査について、支援要請のあった市町村へ技術職員を派遣
- ・ 用水の復旧など、早急に対応が必要な箇所の応急工事の実施について、市町村を支援
- ・ 災害復旧事業制度を周知するとともに、制度活用に向け、市町村を支援
- ・ 林道施設の災害査定に向けた測量設計などについて市町村を支援
- ・ 治山施設及び林地荒廃について、詳細調査を実施し早期復旧に向け復旧工法を検討

(3) 商工労働観光部

- ・ 県信用保証協会、県中小企業団体中央会等に特別相談窓口を設置
- ・ 大規模被害を受けた商工観光事業者の営業再開に向けた相談対応

(4) 県土整備部

- ・ 道路の流出土砂、倒木の除去等応急工事を実施し通行確保
- ・ 河川の堤防決壊箇所の仮復旧を行うなど応急対策を実施
- ・ 災害査定は、9月17日から10月18日までに完了

15 予算措置の状況

平成25年7月26日から28日及び8月9日の大雨・洪水被害への対応分49億1,000万円を補正予算第2号として、さらに7月から8月の大雨・洪水被害調査の進捗に伴う対応分8億8,700万円を補正予算第3号として、計57億9,700万円を9月県議会定例会へ提案し、措置済。

なお、既定予算により対応しているほか、予備費により被災者生活再建支援金支給補助として987万5千円も措置済。